

家庭学習部の取り組み

自ら計画を立てて、自ら学ぶ力を育成するための取組

視点① 自ら計画を立てて取り組む力を育成するための家庭学習の取組

視点② 掲示教育の充実に関する取組

視点①の取り組みとして

- 1) 自主学習の手引き・自学のノートの書き方を 学年部ごとに見直し

ホルダ：令和2年→校務分掌→校内研修→専門部→家庭学習

6月9日（水）までに各担当まで知らせる。

☆ 後日決定版を先生方に提示し児童配布予定です。

- 2) 家庭学習の内容を書く。

低学年→ 生活ノート等に宿題を書いて、家庭学習の課題を把握

中学年→ 生活ノート等に宿題を書いて、家庭学習の課題を把握 + その日の自学の計画

高学年→ 生活ノート等に宿題を書いて、家庭学習の課題を把握 + その日の自学の計画

+ 1週間の自学の計画と振り返りを行う。

視点②の取り組みとして

- 1) 自学コンクールの実施

○ 主な賞

* 昨年とほぼ同じ

☆やくそくばっちりで賞

家庭学習部会から提案された「自学ノートの書き方」をしっかりと守って学習しているもの。

☆まとめ方じょうずで賞

図や表、記号を使ったり大事な語句を強調したりするなど、学習したことが分かりやすくまとめられているもの。

☆わくわく研究で賞

自分が興味のあることや、身の回りの事象などについて、学習しているもの。（例：新聞記事から考えたこと、昆虫の生態調べ 等）

☆とくべつ賞

担任の先生で、「ぜひこの子に〇〇賞を！」というものがあれば、教えてください。賞をつかって掲示します。（例：びっしりで賞、ていねいで賞、こつこつがんばったで賞）

☆殿堂入り

前期（9月）と後期（3月）の2回でこの児童こそ殿堂入りだという児童を選ぶ。

- 掲示について

・週に1回程度を目安に、学級ごとにいずれかの賞が更新されるよう掲示してください。（各担任）

・ノートをスキャン（デジカメ撮影でも可）し、上方に学級・氏名を記入してファイルにしてください。

・賞に選んだ児童のノート等に貼るシールを配布します。その後は、職員棚に補充分は入れておきますので、各担任の先生でお取りください。

前期後半から後期の家庭学習部の取り組み

自ら計画を立てて、自ら学ぶ力を育成するための取組
視点② 掲示教育の充実に関する取組

視点②の取り組みとして、「自学コンクールで殿堂入りの児童の紹介」を行う。

○ 目的

手本となる児童の自学ノートを見たり、書くポイントを聞いたりすることで、他の児童が自学に取り組むときの参考となるようにする。

○ 取り組み方

9月と2月の2回に分けて、3年生から6年生の各学級の自学で殿堂入りした児童の紹介をビデオ撮影し、「チームス」で各学級視聴をする。

○ 主な内容

- ① 9月10日（金）までに3年生以上の学級は各クラス1名殿堂入りの児童を選ぶ。
- ② 9月に紹介する学級*は9月13日（月）～9月17日（金）の間に、インタビュー動画を撮影する。

☆殿堂入りを紹介する学級

9月 3-2、5-2、6-1 2月 3-1、4-1、5-1

- ③ 9月27日（月）～10月1日（金）の期間中に、各学級で給食時間等を使い「チームス」を視聴する。

○ その他

- 動画では、各担任の先生と児童が出て、インタビュー形式で行っていただければと思います。殿堂入りの児童の自学ノートは全て掲示します。スキャンされた自学ノートを児童の学年氏名が分かるようにして9月末までに提出下さい。
- 撮影した動画を視聴する時には、「チームス」→「北小職員」→「ファイル」→「校内研・家庭学習部会」→「殿堂入り」の順に入ってください。